

(前ページから続く)

社会還元センターわ から話があった。代表の赤司氏にお会いした。赤司氏のNPO法人わのボランティア活動への熱い思いに惹かれ、わ本部への参加を決めました。

国際化・高齢化・個別化の社会の中であって、これからのわの活動は地域に目を向け、地域と一緒に考えて活動する組織として、その重要性が増してくると考えます。気負わず、気配りのできる存在、縁の下の支えとして頑張っていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

社会還元の場を求めて

理事 三宅 慶忠(国8)

「ふたたび学んで、他のために」の開学理念は、折に触れて耳にし、また自らも口にします。だが、国際交流協力という視点で考える時、ともすれば語学ができる、できないで社会参加活動の中身を考慮勝ちです。残り少ない人生ながら幅広く社会還元の場を会員の皆様と求めていきたいと思ひます。

事務局に入り3年目

事務局長 堀内 昭(食6)

事務局のお世話をするようになり、3年目になりました。私もグループ“わ”については殆ど知りませんでした。が、カレッジ2年の時に学園祭の実行委員をしたときに初めて、グループ“わ”の存在を認識しました。そのような私が、卒業後に皆さんのボランティア活動のお手伝いをするとは夢にも思いませんでした。今回NPO法人資格を取得後も引き続き、事務局で皆さんのボランティア活動のお世話をするようになりました。これからも新しい活動場

所の紹介をしたり、皆さんの活躍振りをホームページ、冊子「活動紹介」、市当局への報告等でPRしていきたいと考えております。会員の皆さんのご協力をお願いします。

大役に驚きと感謝

事務局次長 江本 和嘉子(食6)

昨春カレッジ卒業と同時に“わ”の本部に入閣(?)し、僅かでもお役に立ちたいと願っておりました。このたび「理事」という大役を戴き、驚きと感謝の複雑な気持ちでいっぱいです。未熟者の私ですが、赤司理事長はじめ本部役員、運営委員、グループわの皆様のご指導ご協力をいただき、グループわの発展に努力いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

役立ちたい気持ち

事務局次長 小林 将悟(生8)

3年間生活環境を学んで、諸先生をはじめ先輩方のお陰により、その輪郭をおぼろげに感じる事ができたように思います。学びはまだ必要ではありますが次はこれを世の為、ひとの為に如何にお役に立てられるか微力であっても誠心誠意取り組みます。

人は「他の為に役立ちたい」という気持ちを皆持っています。

本当に役立っていることを自ら自覚したときに、ささやかな喜びと達成感を得ます。これが次のステップへのハネ、原動力となります。このサイクルが最重要ではないでしょうか?

NPO法人グループわの使命もここにあると思ひます。

数字好きを生かして

財務担当 岡村 健二郎(園7)

昨年に引き続き役員の端く

助成金情報

6月までに決定した助成金決定事業は下記の通りです。

財団法人長寿社会開発センターより「高齢者による外国人と日本人の親子交流事業」に¥1,613,000の助成金が決定しました。

外国人の親子と日本の親子を対象に昔あそび、自然体験塾、日本料理教室等によるふれあい交流によってお互いの文化、お互いの国の事を理解し合うイベントを開催予定で関係部会で協議を開始したところであります。

財団法人ひょうご環境創造協会より「ケナフ栽培とその効果的な利用」の活動に対し¥100,000が決定しました。ケナフの栽培はもとより「ケナフ紙すき」を通し、ケナフの利用及び地球温暖化を学ぶ環境啓発活動を展開する予定であります。

生活復興県民ネットより、地域活動推進講座助成金として¥90,000が決定し「音楽セラピー講座」を開催予定であります。

その他、審査済みの助成金申請のもの1件、年内に数件を申請予定で情報収集に努力中であります。(本部 赤司 松美)

FFPギャラリー

フルーツフラワーパークでは同パーク内のギャラリーを一般に開放することになり、そのコケラ落しとしてグループわ会員の作品展示を予定しています。絵画、写真、陶芸など出展ご希望の方は、グループわ事務局までお問合せください。(743-8101)

音楽セラピー講座

前回好評だった音楽セラピーの第2回講座が9月6日から同13日、21日と3日間に亘って開かれます。詳しい応募要領など、別刷りのチラシを同封してますので、ご覧の上お申込みください。

れで財務を担当しています。

サラリーマン時代、経理を担当したわけではありませんが、もともと「数字好き人間」、定年後小さな会社で総務、人事、経理など事務部門全般を見ていたことがあり、そのことが今少しは役に立っているのかなと思ひています。

NPOへの変身という時期に遭遇して、新しい勉強もさせていただきました。およはずながら今後も頑張りますのでよろしくご支援ください。

叱咤激励ください

広報部長 朝日 照夫(国6)

グループわの会報制作に関わるようになって早くも満2年が過ぎました。グループわがNPO法人として社会的な存在になった現在、広報の役割はますます重要になったと思ひますが、生来の怠け者の私にはほかの皆さま方のように果敢に動くことができません。皆さまの叱咤激励が私の原動力です。どうぞよろしくお願ひします。